

パブリック・コメント制度による

「富士市雨水管理総合計画（案）」

に対する意見募集の結果について

1 意見募集の概要

- | | |
|-------------|---|
| (1) 意見募集方法 | ①富士市ウェブサイトへの掲載
②河川課、各まちづくりセンター、中央図書館での閲覧 |
| (2) 募 集 期 間 | 令和6年11月29日(金)～令和7年1月6日(月) |
| (3) 意見提出方法 | ウェブサイトの送信フォーム・電子メール・郵便・FAX
担当課への直接提出 |

2 意見募集結果

- | | |
|--------------------|---------|
| (1) 意見提出者の数 | 2 人 |
| (2) 提出された意見の数 | 3 件 |
| (3) ウェブページアクセス件数 | 1 1 7 件 |
| (4) 意見の反映状況 | |
| ➤ 反映する（一部反映を含む） | 0 件 |
| ➤ 既に盛り込み済み | 0 件 |
| ➤ 今後の参考にするもの | 1 件 |
| ➤ 反映できないもの | 1 件 |
| ➤ その他 | 1 件 |

令和7年1月

富士市 建設部 河川課

「富士市雨水管理総合計画（案）」の
パブリック・コメントに対する意見及び回答（市民からの意見）

反映結果の項目は、「1 反映する」、「2 既に盛り込み済み」、「3 今後の参考にするもの」、「4 反映できないもの」、「5 その他（案件とは無関係な意見等）」の5区分

No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	松岡地区の富士早川は、川底がとにかく浅く幅も狭いです。家の近くは小さな堀も多いです。一気に降る雨の量に対して、各川と堀の幅が狭くて浅いので、道路・家の敷地まで水が溢れます。2024年秋には、短時間の記録豪雨で、あと数十cmで床上浸水になりそうでした。富士宮市の星山放水路のような仕組みがないと富士市は今後、浸水地域が広がるばかりだと思います。 （富士市と富士宮市では土地の高低が違ったり、住む住人の分布が違ったりと、様々なことは一概に言えないかと思いますが） 昔は田畑だった場所が休耕。そして、その狭い土地や幅の狭い道路の中に家が乱立し、水の逃げ道がない。浸水すべくして、家が乱立している地域かなと感じています。川の底が浅い、幅が狭い。その改善を専門家の方々にお願いしたいです。	浸水被害の軽減を図るためには、富士早川などの主要河川の改修と、主要河川へ適切に雨水を流す支川の改修など、総合的に進める必要があります。 本計画は、主要河川を除く面的な雨水計画を策定するものです。 放水路の整備は、主要河川改修の一環として計画する施設となるため、本計画ではなく、主要河川整備の計画時に検討することとなります。 田畑の宅地化に関しては、雨水の流出増加につながり浸水被害の一因となると考えておりますので、地区別の計画を策定する際や、土地利用事業等において指導・確認するなどの対応をしてまいります。 また、2024年秋などの豪雨は、ハード事業の目標とする雨を越えたものであるため、人的被害の防止に向けたソフト事業で対応することとなります。	3 今後の参考にするもの
2	公共の建物は、津波、浸水、地震倒壊の可能性を視野に、免震構造と建物2階相当部分から出入りできるようにする(新しく建設する中央病院等)	本計画は、個別の建物についての計画や構造を示す計画ではありませんので、記載はしていませんが、公共施設については、立地、目的等を考慮し、それぞれの計画策定時に検討しております。	5 その他

3	富士市雨水管理総合計画（案）におけるリスク優先度設定結果には柏原1丁目北部の前川周辺は入っておらず、対応計画もないようです。 市街化調整区域は非対象、あくまでも宅地等のみを対象とするという原則であれば仕方ありませんが、江尾地区が浸水するような年数回の降雨時は、ほぼ毎回浸水し、前川からの逆流、内水氾濫に似た現象も年々頻度、水位が増しており、宅地はかろうじて浸水はないものの自動車浸水被害も多発しております。 是非、同じ富士市として広く平等に対応計画を立案いただけると幸いです。沼津市境という地区の特性上、可能であれば沼津市と協業の上、広域での対応策も視野に入れていただけると助かります。	本計画は、公共下水道事業計画区域を対象とした計画であるため、公共下水道事業計画の区域外は、本計画の対象区域となっております。 なお、前川における浸水対策につきましては、他地区と同様に既存施設を最大限に活用することで、浸水被害の軽減に努めております。	4 反映できない
4			
5			